

1 教育研修基本計画2030について

●計画の趣旨

本県における食と緑に関する施策の基本的な方針である「食と緑の基本計画2030」と連動して、本校のめざす教育・研修に関わる方針として策定します。

計画の期間は、2026年度(令和8年度)から2030年度(令和12年度)の5年間で。

●計画の位置づけ



3 主な取組

農業の未来を担う人材の確保・育成

【学生の教育】

1 意欲の高い学生の確保(取組数:6)

- ・学生確保の取組強化
- ・農業高校等や関係機関との連携強化
- ・時代に対応した入学制度の検討

2 学校教育の充実(取組数:14)

- ・社会情勢に対応したカリキュラムの強化
- ・専攻実習等を通じた技術・経営力の向上
- ・学生のコミュニケーション力・社会性の向上
- ・高度な教育環境の整備
- ・指導職員の技術・教育指導能力の向上

3 学生の就農・就職の支援(取組数:6)

- ・進路別指導の強化
- ・就農指導・相談体制の強化
- ・雇用就農先とのマッチングの推進

4 魅力ある学校づくり(取組数:6)

- ・県民や地域に開かれた学校づくり
- ・情報発信の強化
- ・卒業生と連携したPR活動
- ・教育研修環境の整備

【社会人の研修】

1 新規就農に関する相談及び支援体制の整備(取組数:4)

- ・「農起業支援ステーション」による就農相談の実施
- ・就農相談業務に精通した普及指導員の人材育成

2 新規就農希望研修生の育成及び就農支援の強化(取組数:5)

- ・研修内容や運営方法の充実
- ・関係機関と連携した就農支援の強化

3 経営の発展段階に応じた体系的な研修の充実(取組数:4)

- ・農業経営の発展に必要な知識や技術に関する研修の充実・強化
- ・経営発展志向農家の支援

2 めざす姿

農業の未来を担う人材の確保・育成

新規就農者数 300人(5年間)

1年間の農業従事日数が概ね150日以上かつ年間の農業所得(雇用就農者は給与所得)が100万円以上を目標とする者

4 計画の進行管理

●計画の進行管理

毎年度自己評価するとともに、外部評価委員会による検証及び評価結果を次年度以降の取組に反映させます。

●あり方の検討

教育研修環境の充実を図るため、学校が直面する課題を検討していきます。

- ・体制・カリキュラムのあり方
- ・施設整備のあり方

